

第3期宮城県食育推進プラン目標指標に関する データ集

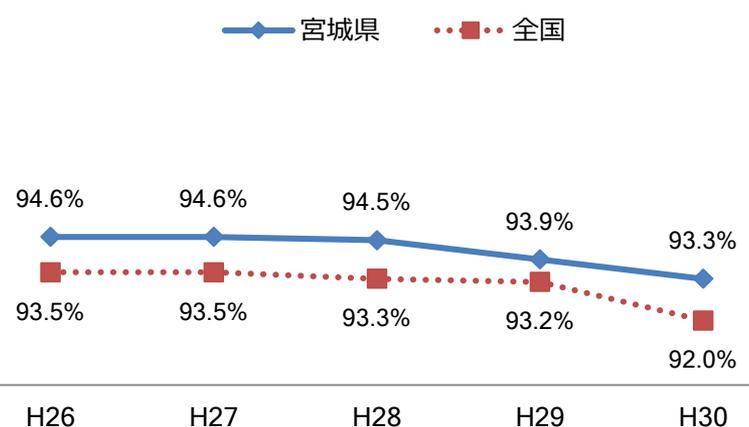
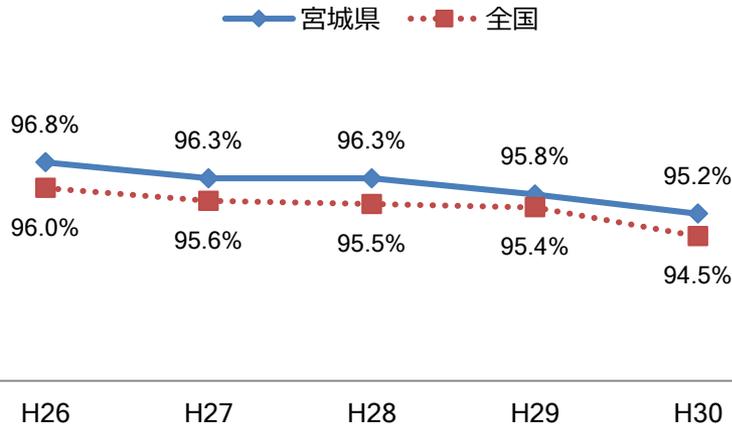
令和元年9月2日
宮城県保健福祉部健康推進課

宮城県の朝食摂取の状況

○朝食を毎日食べる人の割合は、小6，中3とも全国値より高い割合で推移している。

朝食を毎日食べている割合（小6）

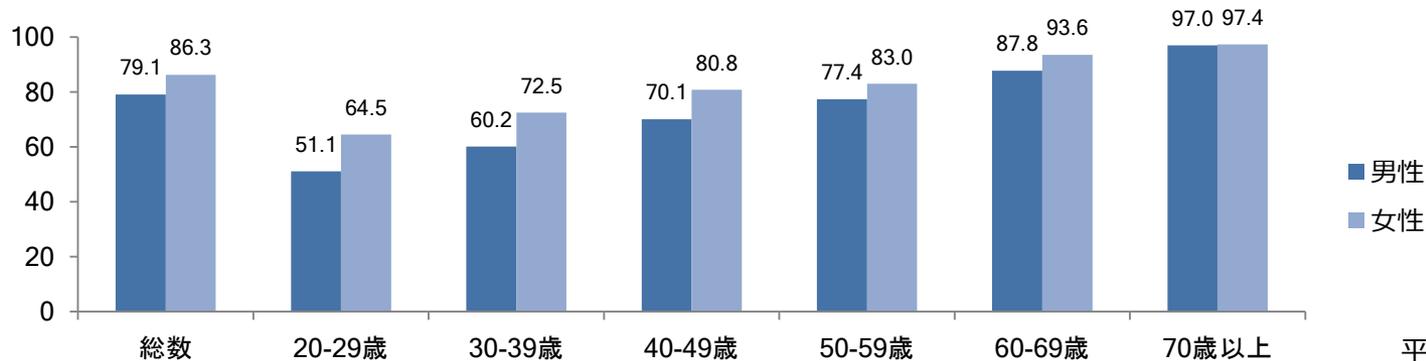
朝食を毎日食べている割合（中3）



全国学力・学習状況調査

○朝食を毎日食べる人の割合は、20，30歳代で低く、20歳代男性は約5割しか食べていない。

年代別朝食を毎日食べている割合（成人）



平成28年県民健康・栄養調査

宮城県の食塩摂取の状況

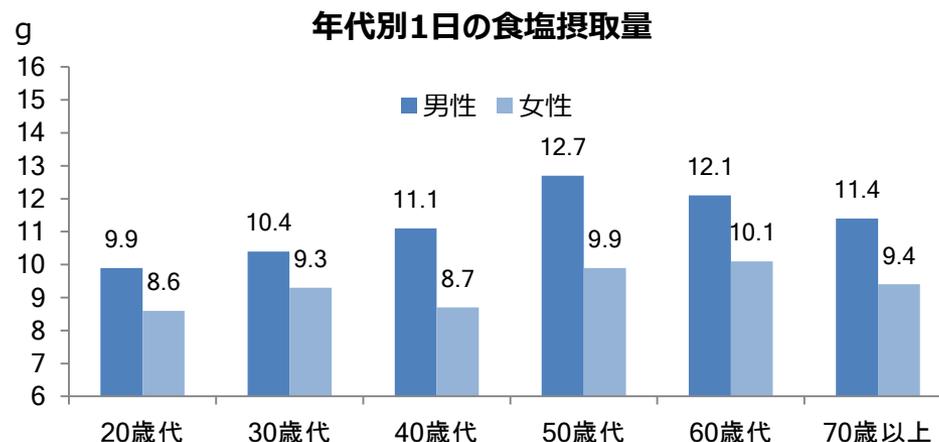
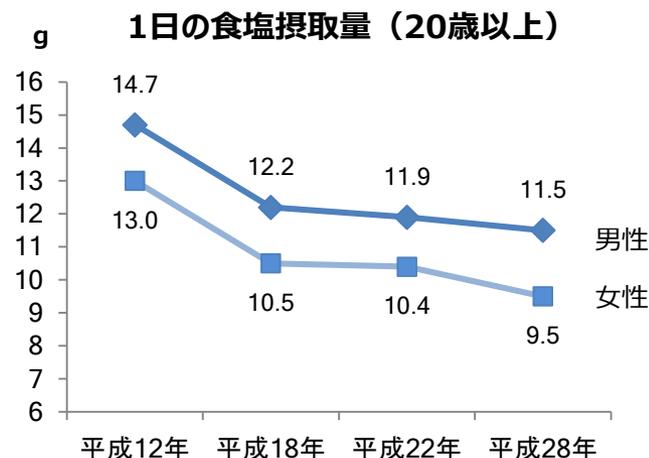
○宮城県民の一日の食塩摂取量は、平成28年国民健康・栄養調査結果によると男性11.9g、女性9.4gで全国平均より多く、男性は全国で最も多い。

	男性	女性
宮城県	11.9g（ワースト1位）	9.4g（ワースト13位）
全国	10.8g	9.2g

H28国民健康・栄養調査

○平成28年県民健康・栄養調査結果によると食塩の摂取量は年々減少しており、この10年間で男女とも1g以上減少したが、第2次みやぎ21健康プランで目標としている男性9g、女性8gには達していない。

○50歳、60歳代男性で特に多くなっている。



宮城県の野菜摂取の状況

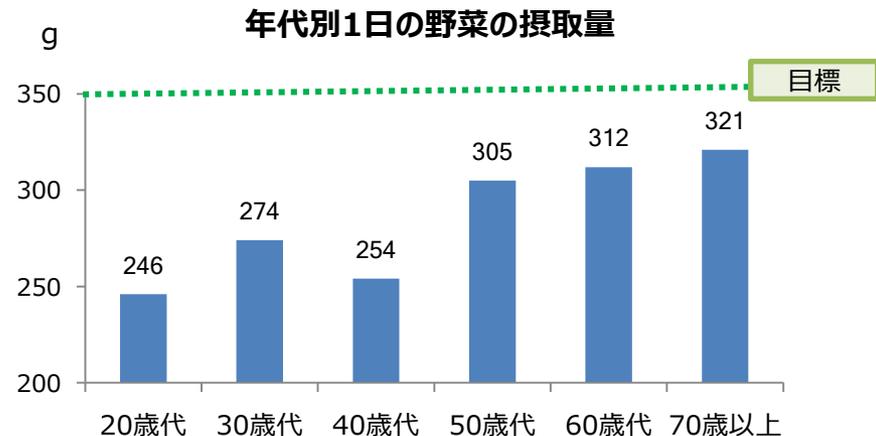
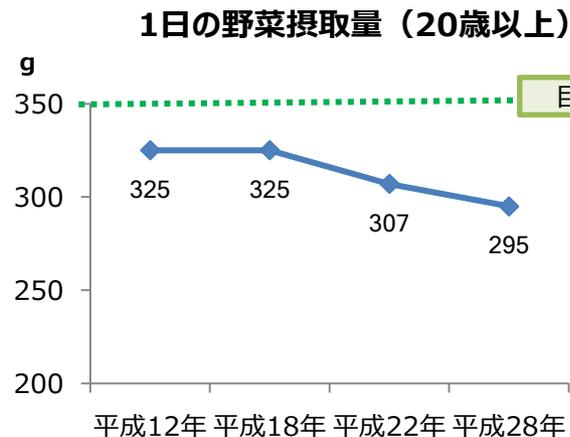
○宮城県民の一日の野菜の摂取量は、平成28年国民健康・栄養調査結果によると男性332g、女性287gで全国平均より多く、全国10位以内に入っている。

	男性	女性
宮城県	332g (3位)	287g (10位)
全国	284g	270g

H28国民健康・栄養調査

○しかし、平成28年県民健康・栄養調査結果によると野菜の摂取量は年々減少しており、この10年間で約30g減少した。

○年代別にみると20～40歳代の摂取量が少なく、第2次みやぎ21健康プランで目標としている350gに対し、約100g不足している。

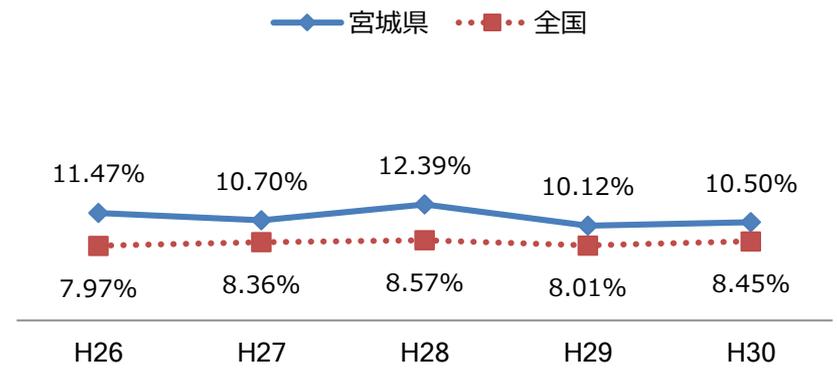
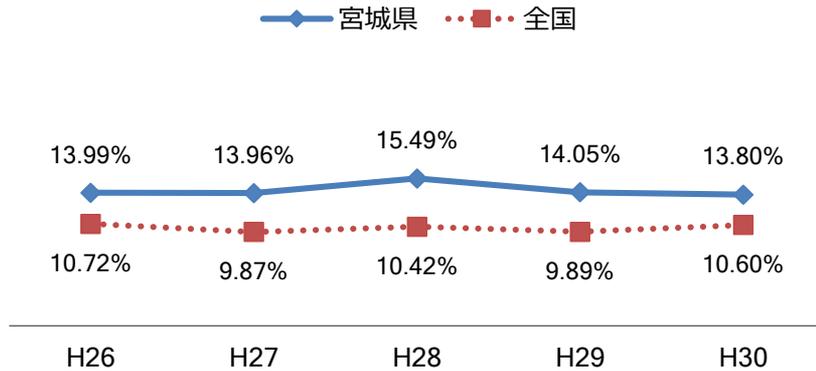


宮城県の子どもの肥満の状況

○中学1年生の肥満傾向児の出現率は、男女とも全国値より高い割合で推移している。
 中学1年生の全国順位は男子7位、女子15位。

肥満傾向児の出現率（中1男子）

肥満傾向児の出現率（中1女子）

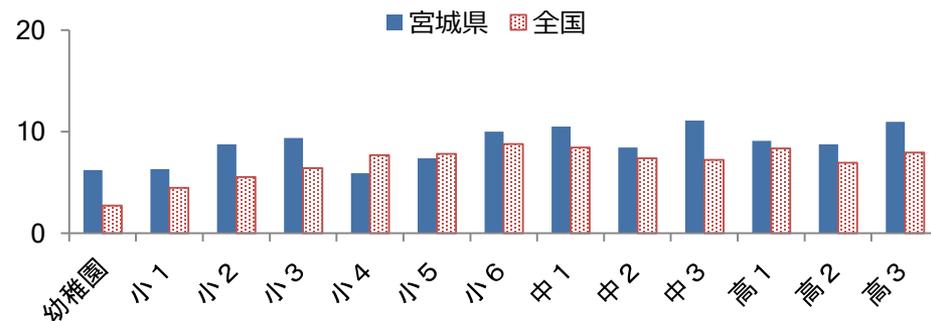
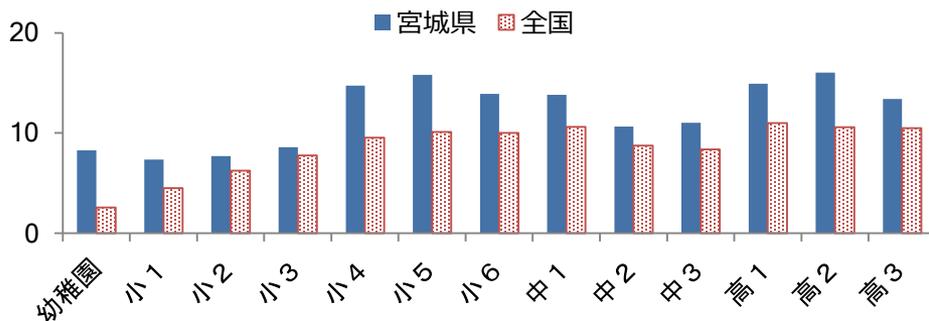


学校保健統計

○全ての学年で全国値を上回っている。

学年別肥満傾向児の出現率（男子）

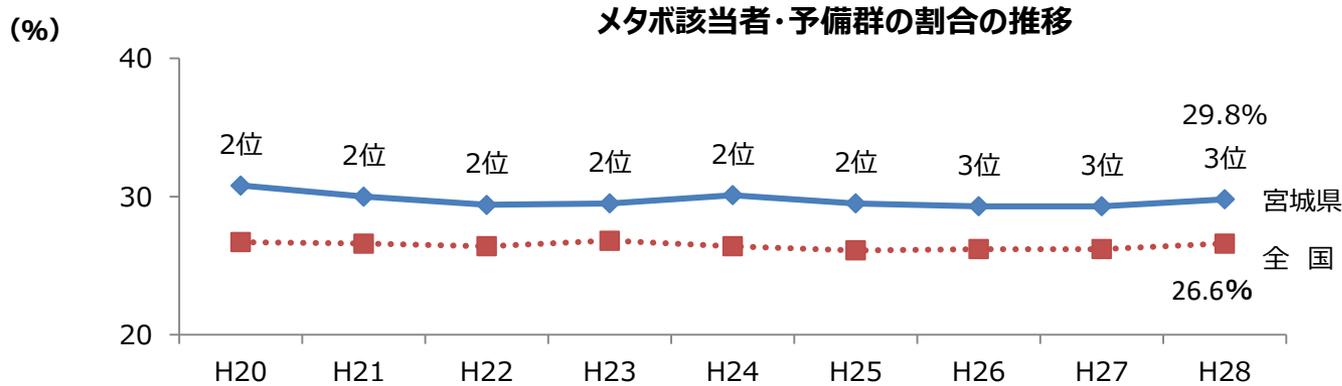
学年別肥満傾向児の出現率（女子）



平成30年学校保健統計

宮城県の特特定健診結果の状況

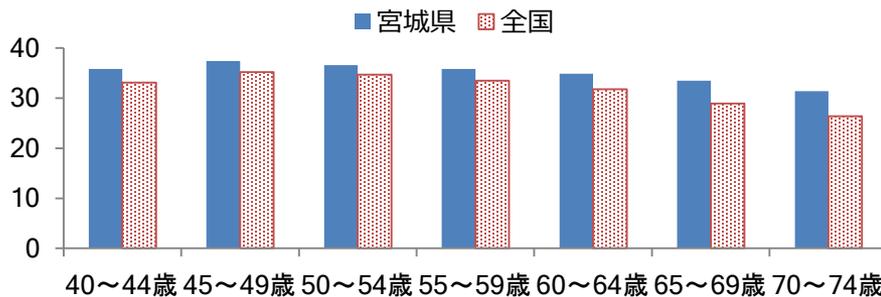
- メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合が全国より高い割合で推移している。9年連続ワースト3位以内。



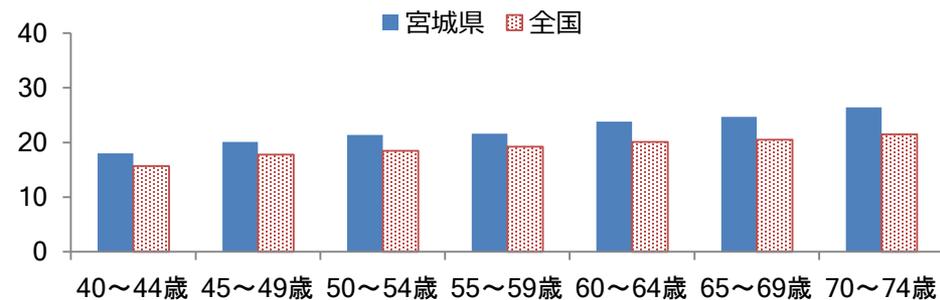
特定健診・保健指導に関するデータ（厚生労働省）

- 成人の肥満者は全ての年代で全国値を上回っている。

年代別肥満者（BMI25以上）の割合（男性）



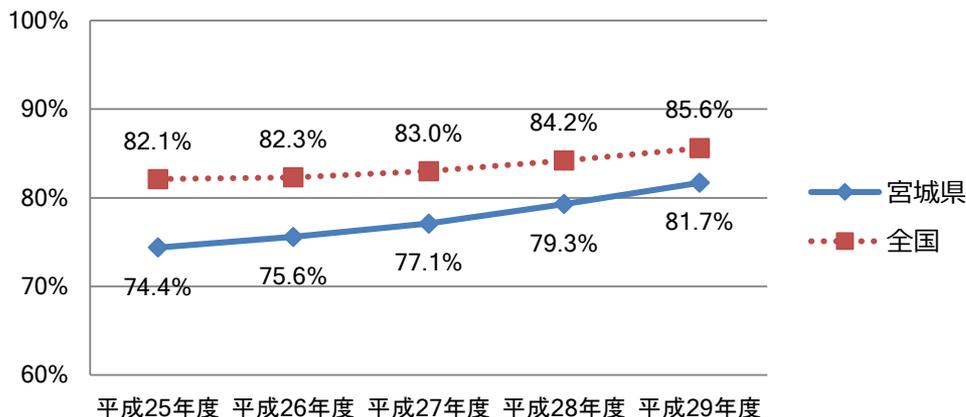
年代別肥満者（BMI25以上）の割合（女性）



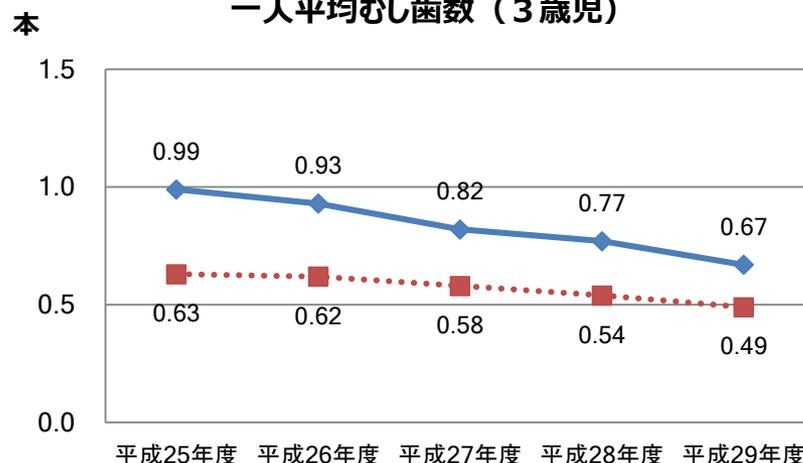
宮城県の子どもの歯の状況

○ 3歳児のむし歯のない人の割合，一人平均むし歯数はいずれも全国値を上回っている。

むし歯のない人の割合（3歳児）



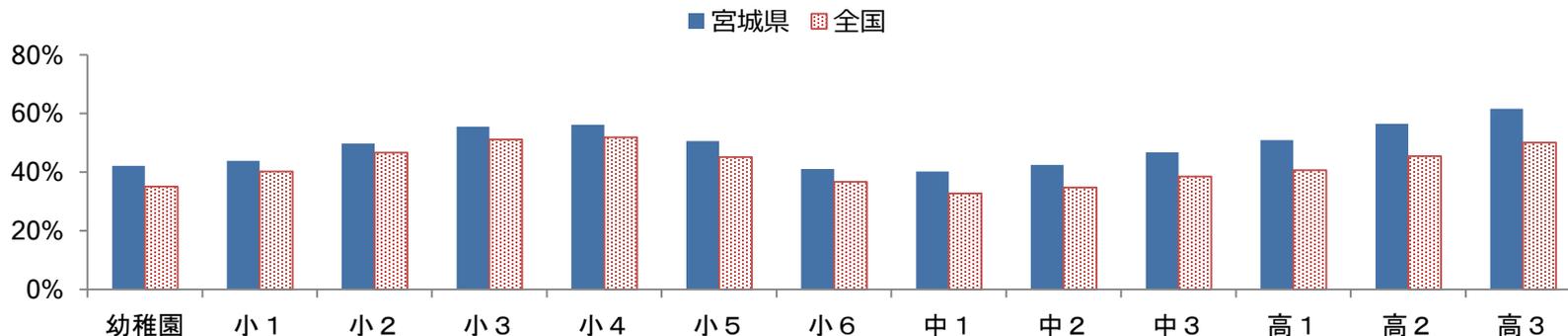
一人平均むし歯数（3歳児）



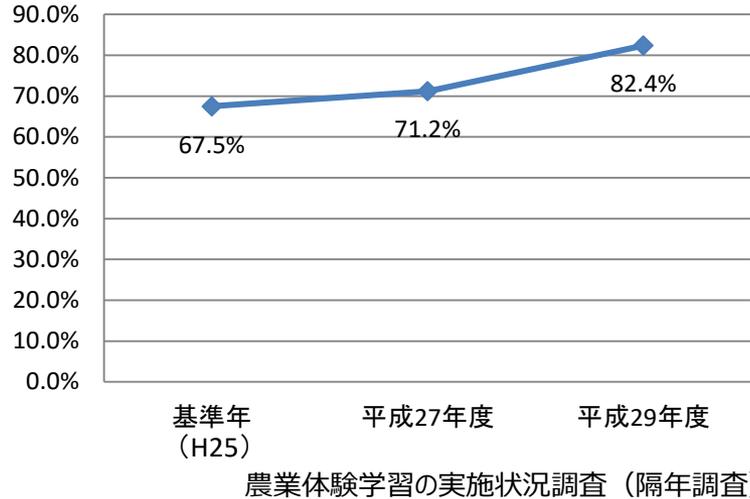
○ 全ての学年で全国値を上回っている。

地域保健・健康増進事業報告

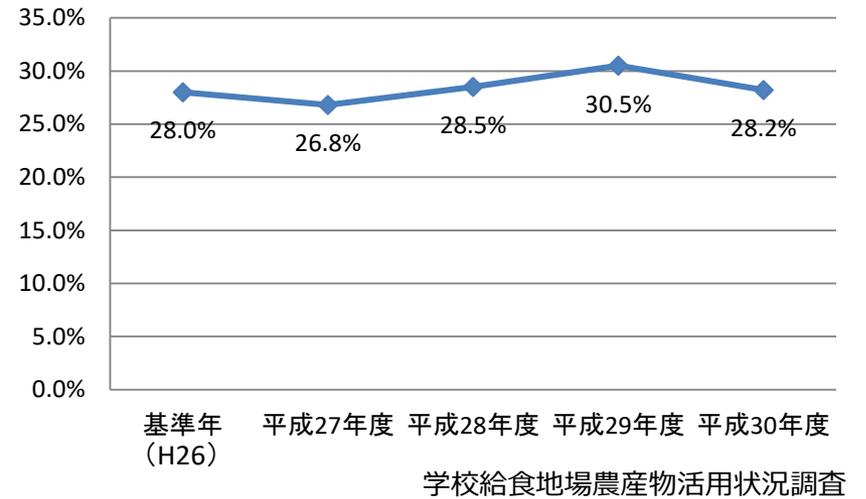
学年別むし歯のある人の割合



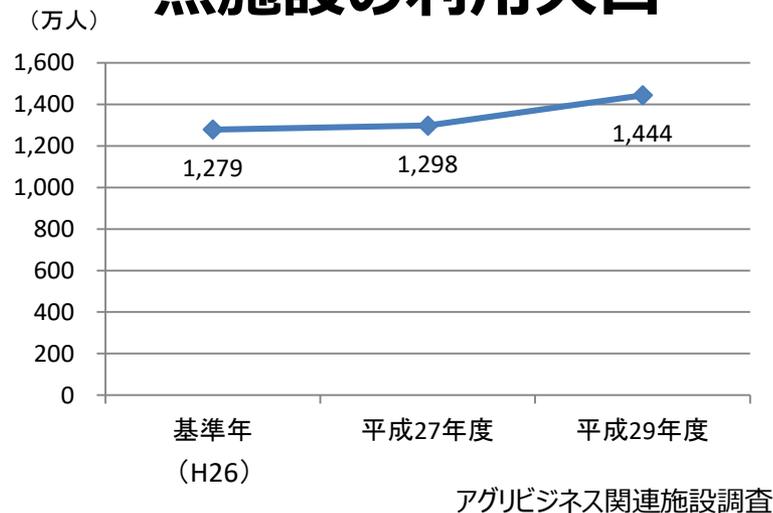
農業体験学習等に取り組む 小・中学校の割合



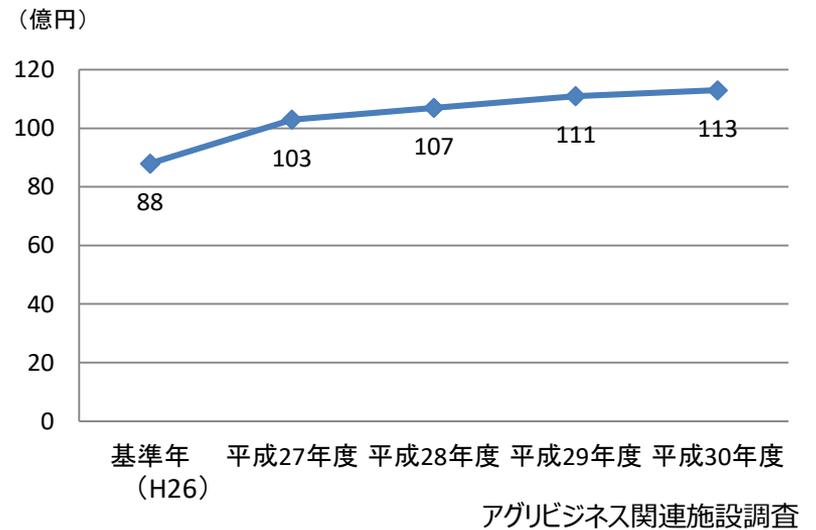
学校給食の地場産野菜等の 利用品目数の割合



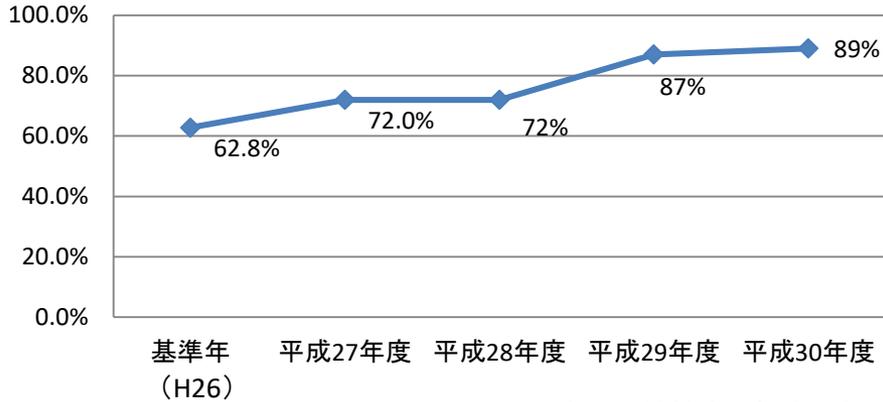
主要な都市農山漁村交流拠点施設の 利用人口



農産物直売所推定売上高

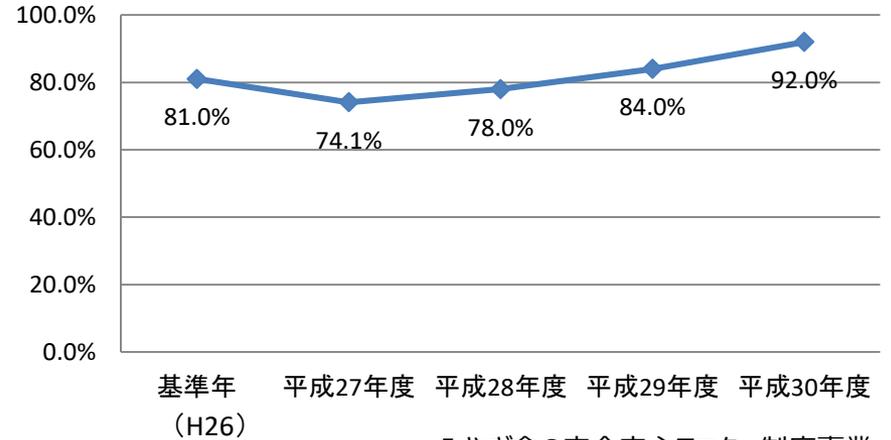


地域の食材を使用した郷土料理を 年10回以上提供している 学校給食施設の割合



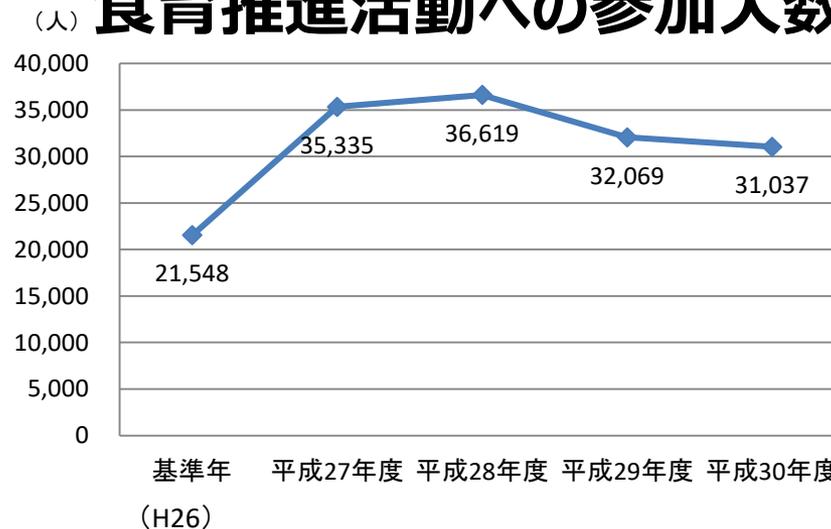
全国学校給食習慣実施報告

みやぎ食の安全安心消費者 モニター活動(延べ参加) 率



みやぎ食の安全安心モニター制度事業

みやぎ食育コーディネーターによる 食育推進活動への参加人数



食育活動の取組状況調査